

賛 助 会 員

理研食品株式会社 (〒985-0844 宮城県多賀城市宮内 2-5-60)

共和コンクリート工業株式会社 (〒060-0808 北海道札幌市北区北 8 条西 3 丁目 28 札幌エルプラザ 11 階)

株式会社KANSO テクノス (〒541-0052 大阪府大阪市中央区安土町 1-3-5)

日本藻類学会和文誌「藻類」では広告を募集中です。詳細は編集委員会委員長までお問い合わせください。

皆様のご投稿をお待ちしています

和文誌「藻類」は会員の皆様のお原稿で成り立っている雑誌です。原著論文のみならず、総説やミニレビュー、学術資料、その他の記事があります。ご投稿に際しましては、第 71 巻 1 号の p.30-33 に掲載されました投稿規定、執筆要項、投稿票、別刷・カラー印刷等申込書をご覧ください。投稿区分、カラー印刷料金や別刷料金と、投稿者が査読候補者を指名し、希望する論文通信担当編集委員に投稿できるなどの審査体制が示されております。投稿規定、執筆要項、投稿票は日本藻類学会の WEB サイト (<http://sourui.org/publications/index.html>) からダウンロードでき、論文通信担当編集委員の連絡先も WEB サイトで確認できます。現在は電子メールでのデジタルデータの投稿を受け付けていますので、投稿票は WEB サイトからダウンロードしてご使用ください。皆様のご投稿をお待ちしています。(編)

編集後記

71 巻 3 号をお届けします。前委員長の芹澤先生より引き継ぎましてからこれで 1 年になります。大学院生になった 20 年以上前に日本藻類学会の会員となり、本欄に和文誌藻類の冊子が並んでいますが、出版をまとめるようになり、全ページ数やカラーページ数など、これまで見ることもなかったとこ

ろが気になるようになりました。完成しました 2023 年の 71 巻は 188 ページです。近年と比べると 2022 年が 214 ページ、2021 年が 178 ページ、2020 年が 194 ページでしたので今年はやや薄めでしょうか。皆様からのご投稿をお待ちしています。

(岩滝 光儀)

表紙 レンズ状細胞が形成されるときに構築されたフサバロニアの微小管配列

制作者：関田 諭子 (高知大学)

制作者より：バロニア属の種は多核の巨大細胞からなり、細胞の表層で起こるレンズ状細胞形成とよばれる細胞分裂によって新たな細胞をつくります。レンズ状細胞形成は 2 段階で進み、各段階で特有の微小管が出現することが明らかになりました。写真はフサバロニアのレンズ状細胞形成の第 1 段階における微小管配列を示します。中心部にはランダムな微小管が分布し、その周囲には求心方向に配列する微小管(周縁求心微小管)が新たに構築されました。さらにその外側にもともと存在していた表層微小管が平行に配列しました。その後、第 2 段階に入ると、この周縁求心微小管が分断し、その分断部位で陥入した原形質膜の最先端部に刷毛状微小管が新たに出現し、隔壁形成が始まりました。